

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 教施24

工 事 名 義方小学校トイレ整備機械設備工事

番号	質問内容	頁	回答
1	1階の床下構造について 1階の床下は全てピット構造で作業員が行き来できるのでしょうか。 床点検口は600×600程度でしょうか。 PSの点検口からはピットへは降りれないと思われます。 床下が万一土間構造で全面別途工事での 研りであれば、給水管の管種にVBが使用 されていますが全てVDではないでしょ うか。	M-07	1階床下はピット構造ではなく土間構造 です。床点検口はありません。 1階床は別途工事にて全面はつりを行 いますが、管種は設計書M-06に示す とおり屋内はSGP-VBです。
2	1階の床の穴明、研りについて 1階改修時の新設衛生器具、配管の穴 明、はつり等は数量書には記載されて いませんが、別途工事でしょうか。 本工事で穴明、研りが生じる場合は設計 変更対象でしょうか。ご教授ください。	M-07	1階床は全面研り及び復旧を別途工事 にて行います。 本工事で穴あけやはつりが生じた場 合は現場協議の対象といたします。
3	1階の床下の配管、保温について 給水管の管種で一部VDが使用されて いますが、壁内配管をVDとし、保温を保 温チューブとしているのでしょうか。配 管ライニングの構造により管種と保温仕 様が変わってくると思われますがその場 合は設計変更の対象でしょうか。 又、給水管の数量に対して保温の数量が 少ないと思われますが、変更の場合は設 計変更対象でしょうか。ご教授くださ い。	M-07	壁内配管は設計書M-06に示すと おり、SGP-VBですので保温には保温 チューブを使用してください。 1階床下はピット構造ではなく土間構 造ですので保温の数量は設計書の とおりです。
4	床構造について 既設2, 3階の床は防水があると思われ ますが、新設の床排水金物は非防水型 となっています。乾式トイレとして思 ってよいのでしょうか。ご教授くださ い。	M-08, 09	お見込みのとおりです。
5	床穴明、はつりについて 穴明の大きさが20Aに対して28mm、25A に対して38mm、40Aに対して50mm等 となっています。モルタル穴埋めが できないような隙間となつていま すがこの考えで良いのでしょうか。 また、床はスラブ120 ～150+防水層10+シンダーコン100 ～150程度と思われますが、数量 書の穴明長さでは床下まで貫通 できないのではと思ひます。床の 総厚みにより穴明の長さの変更 は設計変更対象でしょうか。ご 教授ください。	M-08, 09	良くありません。モルタル穴埋め は必要ですので穴埋めができない 場合は現場協議の対象といたしま す。 床スラブの配管貫通口については、 既存の防水層及びシンダーコンク リート を別途工事で撤去しますので床 下まで貫通可能です。

番号	質問内容	頁	回答
6	<p>撤去について 各階に止水栓撤去後プラグ止めとなっていますが、通常の配管用プラグ又はキャップが良いのでしょうか。また壁の仕上げから出で来ると思われますが良いのでしょうか。ご教授ください。</p>	M-07, 08, 09	<p>通常のプラグとしておりますが、壁の仕上げ面から出る場合は現場協議の対象とします。</p>
7	<p>撤去について 撤去の数量書-18～24に立上り給排水管と床排水金物撤去の為の穴明が見受けられませんが、既設配管排水金物は床コンクリートの中にあり穴明又ははつらないと撤去できないと思います。撤去の為の穴明、研り工事の増加は設計変更対象でしょうか。 又、2,3階の床掃除口、排水金物下部には防水層用のつばがあり、つばより大きい口径でなければ撤去できないのではないのでしょうか。ご教授ください。</p>	M-07, 08, 09	<p>立上り給排水管と床排水金物撤去のための穴あけ及びはつり等が必要な場合は現場協議にて対応いたします。 2、3階の床掃除口、床排水金物等については、別途工事にてシンダーコンクリートを撤去するため、撤去可能です。</p>
8	<p>1階の床下構造についての追加 土間構造で別途建築工事で全面研り撤去の場合は、埋設配管の人力による掘削、埋戻し、残土処分等の費用が必要ですが、これも設計変更対象でしょうか。また、土質によっては保護砂、保護真砂土等が必要になりますがご教授願います。</p>	M-07	<p>配管の労務費に含まれておりますので設計変更の対象にはなりません。真砂土等が必要になった場合は、現場協議の対象といたします。</p>